

第51期（2025年4月期）第3四半期 決算補足説明資料

ヤーマン株式会社

2025年3月14日

美しくを、変えていく。

美しさを実現するものづくり。

それを生むのは、尽きることのないアイディアと卓越した開発力です。

理想の美しさをかなえ、世界中に夢や驚きを届けるために、

私たちは新しい「美のカタチ」を追求し続けます。

決算の概要

(百万円)	第50期 3Q累計	第51期 3Q累計	対前年	主な増減コメント
売上高	25,604	19,033	△6,571	国内は、直販でのコロナ禍後の外出型消費傾向の影響や、利益最大化による広告投資抑制により減少。中国での化粧品市場の低迷が影響。 売上構成は、美容機器84％・化粧品14％・その他2％
売上総利益 (売上総利益率)	15,661 (61.2%)	10,912 (57.3%)	△4,749	売上総利益率は、円安による仕入コスト上昇の影響で下落。
販売費及び一般管理費	13,813	10,095	△3,718	国内広告宣伝費投資はより効率重視。人件費は増加するものの、他コスト抑制。
営業利益 (営業利益率)	1,848 (7.2%)	817 (4.3%)	△1,030	営業利益は、黒字を維持。
経常利益	2,071	594	△1,477	前期末から円高傾向で、為替差損を計上。
四半期純利益	1,159	1,124	△35	関係会社株式売却益961百万円計上。
1株当たり四半期純利益(円)	21.07	20.44	△0.63	

国内は、銀座旗艦店や家電量販店向けの売上が増加。新カテゴリであるヘアケアも売上に寄与。一方、直販部門のコロナ化後の外出型消費傾向の影響や、利益最大化による広告投資抑制の影響で売上減少。

海外は、中国国内の化粧品・美容機器市場の低迷の影響により、売上減少。

(百万円)	売上高			営業利益		
	50期3Q	51期3Q	対前年	50期3Q	51期3Q	対前年
通販部門	3,098	2,761	△336	758	837	+78
店販部門	5,810	6,115	+305	847	1,439	+591
直販部門	6,971	5,014	△1,956	2,167	1,371	△795
海外部門	9,554	4,263	△5,291	3,837	1,238	△2,598
その他	170	1,266	+1,096	106	46	△60
調整額※	—	△389	△389	△5,869	△4,116	+1,753
合計	25,604	19,033	△6,571	1,848	817	△1,030

(百万円)

	24年 4月末	25年 1月末	増減	備考		24年 4月末	25年 1月末	増減	備考
流動資産	26,016	26,338	+322		負債	3,976	3,858	△117	持分法適用の負債減少
現預金	16,605	17,369	+764		仕入債務	782	1,316	+533	
売掛債権 貸倒引当金	4,834 △980	3,884 —	△949 +980	中国向け 売掛金回収	有利子負債	729	777	+48	
棚卸資産	4,056	4,006	△50	在庫の適正化					
固定資産	3,073	3,810	+736	保有有価証券上場で評価増	純資産	25,113	26,290	+1,176	保有有価証券上場で評価増
総資産	29,090	30,148	+1,058		負債 純資産	29,090	30,148	+1,058	
					自己資本比率	86.3%	87.2%	+0.9pt	

中期経営計画・中期投資計画 の進捗について

美容機器メーカーとして、 日本発の「グローバルブランド・カンパニー」へ

目標達成のための成長投資



中期投資計画

大学との共同研究により、当社製品の具体的な有効性と安全性を検証するほか、今後の製品開発につながる独自のメカニズムの解明を目指す。

研究により得られた結果は、論文発表などを通じて美容技術開発に還元し、美容機器業界のさらなる発展につなげる。

表情筋研究所

産学連携



当期の進捗

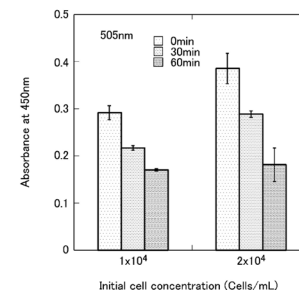
「表情筋研究所」の研究成果として、ブルーグリーン光(505nm)によるメラニン生成抑制技術が特許登録査定となった。
(特開2025-26712)

また、継続して国立大学法人東京大学大学院医学系研究科皮膚科学との共同研究を推進し、第3四半期は2報の論文を共同執筆、投稿を完了した。

特許の権利化及び論文発表により、新たな美容技術を確立し、新製品開発へと繋げる。

条件	細胞生存率(%)		
	mean	s.d.	P
ブランク	-	-	-
対照	100.0	1.8	1.000
505nm 0.5mw/cm ²	99.3	1.4	0.479
505nm 1.0mw/cm ²	97.8	1.3	0.040
505nm 4.0mw/cm ²	96.8	1.0	0.004
505nm 7.0mw/cm ²	97.8	2.0	0.069
505nm 11.5mw/cm ²	95.7	0.9	0.000

条件	メラニン生成率(%)			細胞あたりのメラニン生成率(%)		
	mean	s.d.	P	mean	s.d.	P
対照	100.0	1.9	1.000	100.0	1.9	1.000
505nm 0.5mw/cm ²	97.1	2.5	0.048	97.8	3.0	0.157
505nm 1.0mw/cm ²	97.8	1.8	0.069	100.0	2.1	0.987
505nm 4.0mw/cm ²	97.2	2.3	0.042	100.4	2.9	0.758
505nm 7.0mw/cm ²	98.5	3.2	0.332	100.7	3.1	0.643
505nm 11.5mw/cm ²	91.6	2.3	0.000	95.8	2.7	0.010



中期投資計画

美容医療

美容医療の市場規模(医療施設収入高ベース)は、約4,000億円規模に達しており、今後も拡大基調で推移する見通しの有望な新カテゴリー。

美容皮膚科等の医療機関内で使用する「医療機器」に加え、医療機関専売の家庭用美容機器や化粧品の販売も視野に入れる。

美容系クリニックは

全国で約**6,000**院

美容皮膚科 約4,500院

美容外科 約1,500院



オーラルケア

口腔洗浄器を皮切りに、国内・海外ともに伸長しているオーラルケアのカテゴリーに進出。

国内では歯科医院ルートを開拓し、製品ラインナップを強化する。国内での販売実績をもとに、グローバル展開を目指す。

口腔洗浄器：ジェットフロス



直販・新聞
EC・インフォ

家電量販店
デンタルケアコーナー

通販卸
TV通販

歯科

当期の進捗

美容医療

- ・医療機関向け「医療機器」の開発推進中。
- ・美容医療技術を小型化した業務用機器「クイーンリフト for PRO TIARA」を発売。



(非医療機器)

forty-four

- ・2024年8月にグループ化したforty-four社にて、2025年1月から、マステムブランドで、ピタリフティーの販売を開始。

中期投資計画

家庭用医療機器・薬事認証取得

【中国】

家庭用医療機器として販売できるようNMPAの認証登録を推進する。

【アメリカ】

美顔器でのFDAの認証登録を推進する。

中国・アメリカ子会社の投資強化

【中国】

ヤーマンのブランド力を活かしたライブコマースなどによる販売を引き続き強化し、新カテゴリーの展開にも取り組む。

【アメリカ】

FDA認証製品・家庭用美容機器を積極的に展開し、欧米市場でのブランド認知度向上を目指す。



当期の進捗

家庭用医療機器・薬事認証

中国、アメリカに於いて、規制当局へ薬事申請済み。52期中の登録、上市を目指す。

中国・アメリカ地域以外の進出

【サウジアラビア】

2025年1月に、初の中東進出となるサウジアラビアにて、ECサイトの展開及び美容クリニックでの販売を開始。



業績及び配当予想

直販部門での外出型消費傾向の影響や広告宣伝費の抑制による売上高の減少に加え、円安による仕入価格の上昇の影響を受け、売上・利益ともに計画を下回る結果となりました。

(億円)

	前回 予想	今回 予想	対前回 増減額	増減率	50期 実績
売上高	350.0	250.0	△100.0	△28.6%	320.0
営業利益	25.0	9.0	△16.0	△64.0%	4.2
経常利益	22.0	6.0	△16.0	△72.7%	10.2
当期 純利益	15.5	11.0	△4.5	△29.0%	3.9

国内では、**2024年12月に銀座旗艦店が過去最高売上を更新したほか、家電量販店などお客様と直接接する販路が堅調であったことから、旗艦店・百貨店を中心に、顧客サービスの充実と新製品のローンチを軸として、売上の伸長を目指してまいります。**

また、当期において子会社化した**forty-four社**を通じて、**インフォーマーシャルによる新規商材の販売を加速**させてまいります。

その他、これまで進出できなかった**販路を機動的に開拓**すべく、**専任の営業組織を発足**させており、**新規販路開発**にも積極的に取り組んでまいります。

海外では、Tiktok、Red Bookといった販路での直接販売に対する投資を強化していくほか、**ベトナムやサウジアラビアといった新規進出国**を中心に、展開の強化を図ってまいります。

また、既存展開国につきましても、取り組み方を見直し、**販売の挺入れ**を図ってまいります。

2024年6月14日公表から、変更はありません。

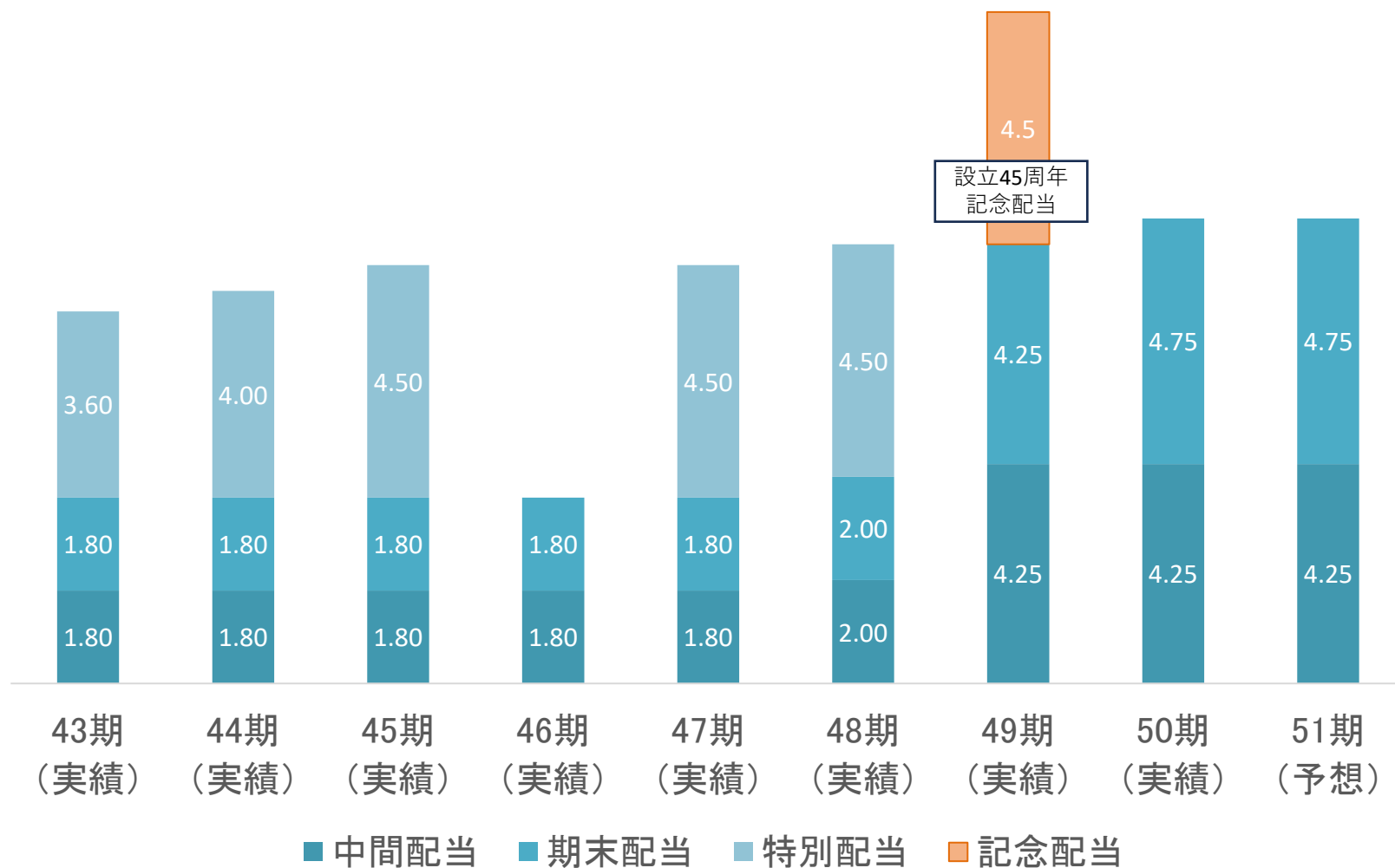
今期の配当予想は、1株当たり9.00円を見込んでいます。

(円／1株当たり)

	51期 予想	50期 実績
中間配当	4.25	4.25
期末配当	4.75	4.75
年間普通配当計	9.00	9.00

➤配当に関する基本方針

当社は、每期安定的・継続的な配当を原則とし、最終的な金額は、通期の業績等を鑑みて決定する方針です。



(注) 上記金額は、2017年11月1日付の株式分割の影響を加味したものです。

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等については、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料は皆様への情報提供を目的としており、投資を勧誘するものではありません。
- 本資料のご利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料のご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。